

# 令和5年度事業報告

## 1 交通事故の発生状況

【令和5年中の発生状況】

	発生件数	死者数	傷者数
青森県	2,619件(+244)	45人(+14)	3,099人(+246)
<b>弘前警察署管内</b>	<b>378件(+76)</b>	<b>3人(-2)</b>	<b>432人(+78)</b>

特徴： 令和5年中の青森県内の交通事故の発生状況は、発生件数・死者数・傷者数の全てにおいて増加。

弘前警察署管内は、死者数は減少したが、発生件数・傷者数とも前年より大きく増加。

## 2 最重点推進事項の推進状況

### ○ 当協会の本年度の「最重点推進事項」

『高齢者と子どもの交通事故防止』

### ○ 活動の二本柱

- ・ 高齢歩行者及び子どもの交通事故防止対策の推進
- ・ 高齢運転者による交通事故防止対策の推進

### (1) 高齢歩行者対策の推進

#### ア 「気づきを促す」安全教育の推進

##### (ア) 高齢者の交通事故実態の周知

- ・ 高齢者の歩行中の事故実態の周知
- ・ 注意事項、防止要領の指導
- ・ 自己防衛意識の向上

##### (イ) 加齢に伴う身体機能の低下への自覚

- ・ 「クイックアーム」を活用した体験型の講習
- ・ 「クイックステップ」を活用した体験型の講習

#### イ 反射材の普及及び着用の推進

##### (ア) 反射材の有効性を教示

- ・ 夜間歩行中の効果をアピール
- ・ 交通安全教室での有効性の認識

##### (イ) 反射材の計画的購入、配分

- ・ 各支部への配分
- ・ 各イベントでの配分
- ・ 「反射材貼りまくり隊」による活用

- (ウ) 反射材の着用推進
  - ・各イベント、大会開催時における講話
  - ・各種街頭活動での着用呼び掛け
- (エ) 直接貼付活動の推進
  - ・高齢者宅を訪問して履き物に反射材を直接貼付
  - ・「キャッチ&ハロー作戦」により反射材を直接貼付

#### ウ その他実施事項

- (ア) 「高齢者交通安全の日(毎月15日)」における活動
  - ・地域交通安全活動推進委員により、シルバーゾーン、市内スーパーなどにおいて街頭啓発活動を実施
  - ・高齢者に対する反射材の直接貼付、交通事故防止を啓発するチラシ配布
- (イ) 短時間交通安全講話の実施
  - 各種大会の場を活用し、短時間の交通安全講話を実施
- (ウ) キャッチ&ハロー作戦の実施
  - 街頭活動、各種大会の会場において、「反射材貼りまくり隊」が出動して反射材を直接貼付

#### (2) 子どもの交通事故防止対策の推進

##### ア 保護誘導活動の推進

- 春の新入学時期を中心に、小学校付近において保護、誘導活動を実施
- 「あいさつ・見守り運動」を実施

##### イ 自転車教室の開催

- 管内の小学校において自転車教室を開催
- 自転車の正しい乗り方、遵守事項について指導・教育

##### ウ 中・高校生に対する指導

- 下校途中の中・高校生の自転車乗用者に対する指導
- 交通マナー、ルールの遵守呼び掛け

##### エ のぼり旗の設置

- 支部名入り当協会オリジナル交通安全旗を設置

#### (3) 一般ドライバー対策の推進

- ア 夕暮れ時における“前照灯の早め点灯”、夜間運転時の“原則ハイビーム点灯”についての啓発活動の実施
- イ 信号機のない横断歩道での“歩行者優先運転”について、啓発活動を実施

### 3 交通安全広報啓発活動の推進

#### (1) 各季の交通安全運動

- ア 春の全国交通安全運動
- イ 夏の交通安全県民運動
- ウ 秋の全国交通安全運動
- エ 冬の交通安全県民運動

(2) 交通安全ポスターコンクールの実施

ア 応募作品数

	小学生の部	中学生の部	合計
令和5年	42点	29点	72点
令和4年	47点	23点	70点

イ 優秀作品

- 小学生の部、中学生の部の“優秀作品=各10点”について表彰した。
- 県大会では、小学生の部「佳作」  
中学生の部『金賞』『銀賞』『銅賞』『佳作』を受賞した。



金賞



銀賞



銅賞

(3) 各記念日、月間における啓発活動

ア 「高齢者交通安全の日(毎月15日)」の活動

- 地域交通安全活動推進委員は、毎月、松原地区のシルバークォーター、または、大型スーパー駐車場等において街頭啓発活動を実施した。
- チラシを配布し、交通事故防止の注意喚起するとともに、靴や買い物用のバック等に反射材を直接貼付した。

イ 「交通死亡事故ゼロを目指す日」の活動

弘前駅前において、関係機関・団体と協力し、チラシ等を配布し、交通事故防止を呼び掛けた。

ウ 「シートベルト・チャイルドシート着用強調月間(6月)」の活動

- 支部において“着用率”の独自調査を行った。
- 支部による各種街頭活動で“着用の徹底”を呼び掛けた。

エ 「いきいきシルバー交通安全強調月間(11月)」の活動

- 支部において“高齢者の交通安全研修会”を行った。
- 支部による各種街頭活動で“高齢者の交通事故防止”を呼び掛けた。

(4) その他の広報啓発活動

ア 交通指導車の活用

- 各季の交通安全運動期間中に、交通指導車の車両マイクを使用し交通安全を訴えた。
- 各支部においても、交通指導車を活用し、各地域で安全広報を実施した。

イ 各種媒体の活用

- 新聞、ラジオ等を活用し、広く交通安全を呼び掛けた。
- 協会のホームページを更新、記載内容の充実を図るとともに、常に新しい情報の提供に努めた。

4 交通安全教育、指導の推進

(1) 全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底

ア 各季の交通安全運動期間中に、ハンドプレートや反射ベストの活用、交通指導車による広報で着用の徹底を呼び掛けた。

イ 各種イベントや大会での「短時間交通安全講話」のなかで、着用の徹底を呼び掛けた。

ウ 街頭活動での実施

テント村作戦、交通安全のぼり旗の掲出等により、「シートベルト・チャイルドシートの着用の徹底」を呼び掛けた。

(2) 飲酒運転の根絶

ア 各季の交通安全期間を通じて、飲酒運転“絶対しない・させない”を呼び掛け、根絶を図った。

イ ハンドルキーパー運動への参加、協力を呼び掛けた。

(3) 自転車ヘルメット着用・TSマークの普及

ア 交通広場において「弘前地区自転車マナーアップスクール」を開催し、ヘルメットの重要性や自転車点検方法を説明し周知を図った。

イ 自転車販売業者の協力の下、自転車の整備点検を行うとともに、「TSマーク」の周知を図った。

5 組織・団体の体制強化

(1) 当協会の財政健全化対策の推進

ア 事業活動支出の削減

支出削減に計画的に取り組んだ。

イ 賛助会費の収入

賛助会員の新規募集による会費収入があった。

(2) 各支部の組織体制の強化、活動の活性化

ア 支部長間の相互関係強化

各季交通安全運動期間前に「支部長会議」を開催し、支部長間での意見交換を行った。

イ 地域の実態に即した活動の推進

- 地域の交通実態、交通事故発生状況に即した活動を推進
- 各支部ごとに、創意工夫を凝らした「一支部一活動」を実践

ウ 自主活動の推進

- 「支部便り」を毎月発行、回覧板で各町内会に周知
- 各季運動期間毎の活動成果、実績を報告
- シートベルトの着用率調査を実施 等

エ 支部員からの意見聴取

各支部の実態、問題点等を聴取した。

オ 支部への助成

活動資金及び交通安全グッズを配分した。

(3) 交通指導隊の組織体制の強化、活動の活性化

ア 現体制(令和6年3月末現在)

隊員数 76人

うち女性隊員 6人

イ 礼式の訓練及び受傷事故防止の徹底

出動前に、

- ・服装、携帯品の点検
- ・部隊間行動の礼式訓練

等を実施した。

ウ 組織活動の実践

- 当協会と連携、一体となった活動の推進
  - ・各季毎の交通指導車を活用した広報活動
  - ・独居老人宅への交通安全指導
- 支部、地域と連携した活動の推進
  - ・地域で実施される集会での、交通安全講話

エ 活動(出動)状況

別添「資料1」参照のこと

(4) 職員に対する指導の徹底

ア 各種会議の開催

(ア) 朝会議の開催

毎日朝会議を開催し、「週間予定表」に基づき、活動の効率化、意思統一を図った。

(イ) 幹部会議の開催

「職員幹部会議」を毎月開催し、県安協、弘前安協の基本姿勢、重点推進事項を周知徹底するとともに、各セクション間での意思統一及び問題点を抽出し問題の解決を図った。

イ 職員に対する指導・教養の実施

運転免許試験場等窓口職員に対して、随時

- ・親切、適切な窓口対応要領
- ・運転免許更新会員の勧誘要領

等について、指導、教養した。

ウ 自己評価シートの記入

職員全員が自己評価シートを記入し、モチベーションの向上を図った。

6 受託業務等の確実な履行

県警からの受託業務である「運転免許更新、データ入力、道路使用調査」の各業務については、丁寧かつ適正な業務推進に努めた。

また、借地の活用による「駐車場管理業務(2箇所)」についても、適切な管理運営を図った。

7 積極的な表彰の実施

(1) 各支部に対する交通死亡事故ゼロ継続表彰(警察署長、会長連名表彰)

交通死亡事故ゼロを継続している支部の功労に対し、500日達成の都度、表彰している。(令和5年4月から令和6年3月末)

- 11,000日達成 常盤坂支部
- 6,000日達成 時敏地区支部
- 5,000日達成 千年支部、青柳支部
- 4,500日達成 西目屋支部、城南支部
- 4,000日達成 東地区支部
- 3,500日達成 相馬支部
- 2,500日達成 下湯口支部、藤代支部
- 2,000日達成 東目屋支部、二大支部、北地区支部
- 1,500日達成 桔梗野支部
- 500日達成 岩木支部、高杉支部、板柳町支部、豊田支部  
新和支部

(2) 「令和5年交通安全青森県民大会」への出席

青森市の「リンクステーションホール青森」で開催され、受賞者を含む当協会関係者が出席した。

別添「資料2」参照のこと

## 8 各種会議の開催状況

- (1) 青森県交通安全協会会議等  
詳細については、別添「資料3-(1)」のとおり。
- (2) 当協会会議等  
詳細については、別添「資料3-(2)」のとおり。
- (3) 各支部総会・交通指導隊会議等  
詳細については、別添「資料3-(3)」のとおり。
- (4) その他の行事・会議等  
詳細については、別添「資料3-(4)」のとおり。

## 9 その他

整理整頓、カウンターの消毒、空気の入れ換え等を実施した。  
当協会窓口カウンターに、その季節の花を置き環境美化に努めた。